

北海道短期大学

北海道短期大学ホームページ http://www.senshu-hc.ac.jp

秋期学生部ツアー開催

余市・小樽を散策

学生25人が果物狩り、水族館見学など満喫

サケの遡上に感動



▲ 山本観光果樹園でもぎたてのリンゴを試食



▲ 小樽水族館ではアザラシの餌付けに挑戦

10月15日、学生部が主催する「秋期学生部ツアー」が開催された。同ツアーは、北海道の四季を

体感してもらおうと年に3回実施されているもので、今回は学生25人が参加し、北海道西部の余市町、小樽市を訪問。果物狩りなどを楽しんだほか、小樽水族館を見学し

た。初めに道内有数の果物の産地である余市町へ。「山本観光果樹園」でリンゴやブドウを収穫する果物狩りを体験した。学生たちはもぎたての果実を試食しながら、カゴいっぱい秋の味覚を詰め込んでいた。

また、同町では鮎見橋付近でサケの遡上を見学した。初めて目にする学

▲ 一日を締めくくりに、天狗山で記念撮影

代表電話番号 0126 (63) 4321
代表FAX番号 0126 (63) 3097

声を上げていた。続いて訪れた「小樽水族館」では、イルカやペンギン、アザラシによるショーを観覧したほか、3班に分かれ、バックヤード(水族館の裏側)を見学。飼育員の方から動物や設備の説明を聞いたり、実際にサメに触れたりするなど、貴重な体験となった。

最後に、紅葉に染まった小樽市の天狗山へ。きれいに色づいた天狗山をバックに全員で記念撮影。楽しい一日を終え、帰路に着いた。

生が多く、水しぶきを上げながら懸命に上流を目指すサケの姿に、感動のページを確認を。

12月17日 スキー・スノーボードツアー実施
12月17日(土)には、最後の学生部主催ツアー「スキー・スノーボードツアー」を開催予定。詳細は学内掲示板やホームページで確認を。

田中久美子さん(みどりの総合科学科)が

林業試験場と共同で評価実験

「課題研究」での発表を目指す

田中久美子さん(みどりの総合科学科2・青森県六戸高)が北海道立総合研究機構の林業試験場(美唄市光珠内町)でインターンシップ(学生実務研修)研究生として研究に取り組んでいる。同生男子とともに、植物の

効果を検査する共同研究を行っており、「課題研究」での発表を目指す。専門科目「アロマテラピー」の講義を受講し、同テーマに興味を持った田中さんは、「課題研究」として調査を開始。ゼミ

研究は、ヤチヤナギの葉から蒸留して成分を抽出し、どの成分がリラックスマス効果に大きく関係しているのかを調査するもの。抽出されたミネラル、Dリモニン、α-ピネン、フェランドレン、ミルセン等の成分を用い、血圧の低下や脈拍数の減少、唾液成分の変化等を比較し、分析を進

めている。また北海道の花であるハマナスについても、花から成分を抽出し、香り効果を検査するための。田中さんは「専門家の方と一緒に考え、手探りで研究を進めていくこととはとても面白いです。講義とは違った知識を得ることができました」と手応えを語った。

▲ 調査結果について意見を交わす田中さん(左)

秋晴れに恵まれた10月5日、第1農場で稲刈りが行われた。今年度は「ななつぼし」を

市立図書館で特別展
短大の歩みをたどる
北海道短期大学のあゆみく目で見ると、あの「日あの時」が開催された。会場には、開学からの44年間を振り返る写真集のほか、実際に使用された実習器具、過去の開催されたイベントの様子を伝える当時の新聞記事なども展示された。

秋期父母懇談会 21組28人が出席

就職・進学で個別面談

在学のご父母を対象に、本学の近況や学生の様子などを伝える秋期父母懇談会が10月22日に開催された。今年度2回目となる同会に、21組28人の父母らが来校。終始和やかな雰囲気の中、全体説明会や個別面談などが実施された。

全体説明会では寺本千名夫学長が今年度の編入学と就職の現状について概要を報告。足達健夫、森山重治両学科長による学科説明が行われた。後、個別面談に移った。

▲ 個別面談では各教員が熱心に相談に応じた中、央は小川賢一教授

は、商経社会総合学科の高橋義博教授が講義を行った。同市の「ピバオイの里プラザ」で開催されたこの講座に28人の市民

▲ 懐かしの講義に集合
生らは教員と当時の思い出に花を咲かせた。実験棟や研究室などに足を運び、学生時代を懐かしんだ。同日夜には、札幌市の「さっぽろテレビ塔」に場所を変え、72人が参加して「みどりの同窓会」が開催された。同会には小林昭裕教授、元教員の依造三、石川幸男、本多和茂の3氏も駆けつけ、卒業生を歓迎し旧交を温めた。

びばい市民カレッジ



▲ 多くの市民が聴講した高橋教授の講義

美唄市教育委員会生涯学習課が主催した市民向け公開講座「びばい市民カレッジ」(8月19日、10月26日、全10回)で本学の2教員が講師を務め、市民の学び意欲をサポートした。

9月2日に行われた溝延学みどりの総合科学科教授の講義(本紙492

まで「交通安全週間」が実施された。1号館ホールに交通安全の模様などを写したパネルが展示され、学生たちは交通安全に対する心構えを新たにしていた。

9月27日から10月9日まで、美唄市立図書館で、専修大学北海道短期大学特別展「専修大学

高橋義博教授が講師に

9月(既報)に続き、10月14日の第8回講座で

造園林学科卒業生ら 38人が来学 旧交温める

11月5日、造園林学科、園芸緑地科、みどりの総合科学科の卒業生38人が来学した。造園林学科の1期生をはじめ、全

冬本番を控え 交通安全週間

道路状況が大きく変わる冬本番を控え、交通安全の意識を高めてもらうと、11月1日から11日



秋晴れに恵まれた10月5日、第1農場で稲刈りが行われた。今年度は「ななつぼし」を

秋晴れの下 稲刈り
減農薬栽培。作況指数は例年並みで、約700キが収穫される見込み。